

津市におけるDXの推進（全体方針）

ビジョン

市民により利便性の高い行政サービスを提供するため、自治体DXの確立に向け大きく一歩踏み出す。

趣旨

本市における自治体DXを推進し、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、**利用者目線に立って新しい価値を創出し、業務の効率化・改善**等を行うとともに、**行政サービスに係る市民の利便性向上の推進、地域社会のDXの推進**を図る。

位置づけ

津市総合計画「笑顔があふれ幸せに暮らせる県都津市」の将来像の実現につなげるためのもの。
「市民の思いや願いに応える市役所」・「高みを目指す行政経営」

期間

令和4年度(2022年度)から令和23年度(2030年度)まで
令和7年度(2025年度)1月から5年間を目途に主な取組スケジュールを設定し、毎年度更新

推進体制

- ・津市自治体DX推進会議
- ・自治体DX総括推進員
- ・自治体DX推進員
- ・デジタル改革推進課（事務局）

重点取組事項

1 自治体のDX (デジタル技術を活用した市民の利便性向上・行政運営の効率化)

- (1) 自治体フロントヤード改革の推進
- (2) 自治体の情報システムの標準化
- (3) 「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化等の推進
- (4) 公金収納におけるeL-QRの活用
- (5) マイナンバーカードの取得支援・利用の推進
- (6) セキュリティ対策の徹底
- (7) 自治体のAIの利用推進
- (8) テレワークの推進

2 地域社会のDX (地域社会の発展に向けたデジタル技術の活用・地域の利便性向上)

- (1) デジタル社会への理解と参加を促進する啓発活動
- (2) 地域社会のデジタル化に係る取り組み
- (3) オープンデータへの取り組み